

【投稿】エネルギー自給へ太陽光発電を推進せよ

会員・オフィスエム・ソリューション代表 前嶋規雄

独立国家の根源は自立能力である。衣食住を骨格とすれば、血液に当たるエネルギーも、できる限り自給せねばならない。それを地産池消で達成するのは高度な技術力であり、不足するものを補う交換物を産み出すのも技術力である。その理由で「技術立国」が国是となる。それを支えるきちんとした防衛能力と、日本古来の「足るを知る心」が不可欠であることは言うまでもない。

エネルギーの自給化は国家の安全と不可分である。A B C D包囲網（1941年の米国、英国、中国、オランダによる対日経済封鎖）を思い起こして欲しい。4月26日の月例研究会で、再生可能エネルギーは原子力を代替できないとほのめかすご意見が、数人の先生からあった。しかし、これほどの事故を起こした原子力をソフトランディングさせるには10～30年かかるとの指摘は事実であり、その間に他国からの輸入化石燃料で代替するわけにもいかない。

産経新聞ですら5月1日付の署名記事「原発の代替は可能か」で、太陽光発電価格を49円/KWh（出所は電力会社）としているが、実際には現在22円程度が達成されている。震災前の数字だが、2030年の発電量は2800万KWと予測されていた。国家が毅然とした意志を持って太陽光発電を推進すれば、量産で価格はさらに低下し、発電量は前倒しで達成されるだろう。